

# 平成26年度 地域密着型金融推進計画 取組み結果

平成27年6月

百五銀行

FRONTIER BANKING



## 1 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

### (1) 創業・新事業の開拓をめざすお客さまへのサポート

#### 創業・新事業に関する支援

⇒ 取組み事例は11ページをご覧ください。

- ・平成26年度は15先のお客さまに対し、「創業補助金」の申請や事業計画の策定などのサポートを実施しました。
- ・創業・新事業者の技術的な課題など幅広い相談ニーズにお応えするため、三重県産業支援センターと連携し、「出張よろず相談会」を開催しました。

#### 医院開業・介護事業に対するコンサルティングの実施

- ・医療・介護事業の開業を検討しているお客さまに対し、マーケット分析や収支計画シミュレーションなどの具体的なコンサルティング活動を実施しています。平成26年度の開業にかかる支援件数は96件となりました。特に、三重県内における医院開業支援に関して、当行は第1位の高いシェアを占めています。
- ・すでに医療機関を経営されているお客さまに対する経営改善や医業承継などのコンサルティング活動も実施しています。また、一般病院向け、精神科病院向け、介護事業者向けの各種セミナーを開催するなど、経営課題の解決に向けた情報提供も行っています。
- ・平成26年度における医療事業支援にかかる融資実績は78億円、介護事業支援にかかる融資実績は76億円となりました。

## 1 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

### (2) 成長段階におけるさらなる飛躍をめざすお客さまへのサポート

#### 人事関連コンサルティングの実施

- ・年金・退職金制度の新規導入・再構築ニーズのあるお客さまに対し、具体的なシミュレーションにもとづくコンサルティング活動を20件実施しました。
- ・平成26年度は新たに5社から確定拠出年金（企業型）を受託し、平成27年3月末の受託企業数は121社となりました。また、確定拠出年金（企業型）契約先へマッチング拠出の提案を行い、累計37社が導入しました。

#### 省エネ提案による経営改善コンサルティングの実施

- ・お客さまの「環境に関する経営課題の解決」と「ランニングコストの削減」をサポートするため、省エネ診断結果にもとづく省エネ設備導入、利子補給制度やJ-クレジット制度の有効活用などのコンサルティング活動を実施しており、平成26年度における環境関連提案の実施先数は35先となりました。
- ・平成26年度における環境格付融資（※）の実行額は、環境格付融資「エコ・フロンティア」と環境格付私募債の引受けをあわせ、合計で52億円となりました。そのうち、17億円については、環境省ならびに経済産業省の利子補給制度を活用しており、お客さまの「地球温暖化対策に資する設備投資」に対応する融資となりました。

#### ※「環境格付融資」とは？

地球温暖化対策のためのCO2排出量削減などにかかるお客さまの活動内容について、環境格付評価を行い、その評価に応じて適用金利を優遇することを通じて、環境保全活動の促進を図ることを目的とした融資商品です。

## 1 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

### (2) 成長段階におけるさらなる飛躍をめざすお客さまへのサポート

#### 海外事業展開に関する支援

- ・海外進出、貿易、海外販路・調達先拡大ニーズのあるお客さまに対して、さまざまな情報提供を行いながらコンサルティング活動を実施しており、平成26年度におけるサポート件数は447件となりました。
- ・「クロスボーダー・ローン（中堅中小企業用）」の取扱いを開始し、タイ・インドネシアに進出されているお客さまの資金調達手段の多様化ニーズにお応えできる体制となりました。平成27年3月には、第1号案件として、タイ向けに日本円74百万円相当の融資を取り組みました。
- ・業務提携しているベトナムのHD Bankがジャパンデスクを設置したことにより、現地で事業を営まれるお客さまが日本語でサポートを受けられるようになりました。
- ・ベトナムやインドネシアに拠点を構え海外進出コンサルティングサービスを手掛ける株式会社フォーバルと業務提携し、海外進出に関するサポート体制を一層強化しました。



#### 海外駐在員事務所

- 上海駐在員事務所
- シンガポール駐在員事務所
- バンコク駐在員事務所

#### 主な提携先

- 中国銀行 ●カシコン銀行
- ベトナム計画投資省外国投資庁
- スタンダードチャータード銀行
- バンクネガラインドネシア
- タイ投資委員会 (BOI)
- インドネシア投資調整庁 (BKPM)
- インドステイト銀行 (国際協力銀行経由)
- メトロポリタン銀行 ●ブラジル銀行
- HD Bank

## 1 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

### (2) 成長段階におけるさらなる飛躍をめざすお客さまへのサポート

#### 中堅・中小企業の多様な資金ニーズにマッチした商品の提供

- ・公社保証付アパートローンの平成26年度における融資実績は24億円となりました。
- ・各省庁の利子補給制度に対応した融資商品を設定しており、平成26年度における利子補給制度を活用した融資実績は25億円となりました。
- ・代表者保証や不動産担保に依存しない新たな融資手法としてABLの取組みを強化しており、平成26年度における同手法を用いた融資実績は5億円となりました。
- ・地域に密着したお客さま向けの融資商品「地域の環」の平成26年度における融資実績は298億円となりました。同商品は平成27年4月に商品性を改定し、さらに迅速かつ弾力的な融資対応が可能となっています。

#### 太陽光発電事業に関する支援

- ・「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」を活用した太陽光発電事業を行うお客さま向けの融資商品を取り扱っています。最長20年間の固定金利貸出を可能としており、事業の安定化を図ることができるため、お客さまからご好評を得ています。平成26年度における太陽光発電関連の融資実績は148億円、取扱開始からの累計融資実績は288億円となりました。

## 1 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

### (3) 経営改善、事業再生を必要とされるお客さまへのサポート

#### 経営改善への取り組み

- ・公的支援機関や外部専門家と連携し、それらのネットワークやノウハウを積極的に活用しながら、実現可能性の高い経営改善計画の策定支援などの経営改善支援に取り組みました。その結果、平成26年度中に業況が改善（ランクアップ）した先数は47先となりました。

#### 抜本的な事業再生への取り組み

- ・平成26年度は中小企業再生支援協議会との連携強化、地域経済活性化支援機構（REVIC）の特定専門家派遣等外部専門機関の積極活用により、資本金借入金、事業再生ファンド、再生M&Aなどの抜本的な事業再生を、8先のお客さまに対して取り組みました。

### (4) 事業承継を必要とされるお客さまへのサポート

#### 事業承継に関する支援

- ・平成26年度において取引先の相談ニーズにもとづき、本部担当者が新規で事業承継提案を行った件数は71件となりました。事業承継対策実行に関する資金供給や税理士等の外部専門家との連携による支援活動を行いました。

#### M & A の活用による取引先の支援

- ・M&Aの活用について、お客さまのニーズを把握した提案を行い、平成26年度におけるM&A新規相談件数は131件となりました。また、お客さまに、より多くのマッチング機会を提供するため、「中部金融M&Aネットワーク」(※)によるセミナーを開催するなど、地域のお客さまへの情報提供にも努めました。

#### ※「中部金融M&Aネットワーク」とは？

当行・十六銀行・名古屋銀行の三行が地元企業の発展・存続支援を目的として、平成13年11月に発足した地域活性化プロジェクトです。三行の営業基盤と情報ネットワークにより、地元企業の皆さまに適切なM&Aソリューションを提供しています。

1 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

全てのライフステージのお客さまへのサポート

ビジネスマッチングによる販路拡大支援

⇒ 取組み事例は11、12ページをご覧ください。

- お客さまの新商品開発や販路拡大、全国のファン獲得などを支援するため、外部機関との提携を進めています。平成26年4月には提携先と連携し、セミナーと相談会を開催しました。その成果として、インターネットを利用して個人投資家から事業資金を集める「クラウドファンディング」の活用2件、地方特産品開発支援サービス「うまいもんプロデューサー」の活用1件につながりました。
- バイヤーを特定した個別商談会や商圏の異なる他の地方銀行と連携した相談会を開催し、より効果的な商談機会を提供しました。
- 販路拡大効果が期待できる「クラウドファンディング」の活用をテーマとした三重県主催の「ソーシャルビジネスセミナー」にパネリストとして参加し、地域のお客さまへの情報提供を行いました。




《平成26年度 商談会開催実績》

- H26/7 ロイヤルホームセンター、ダイワラクダ工業向け個別商談会 (主催：当行、ロイヤルホームセンター、ダイワラクダ工業)
- H26/9 第11回三行ビジネス商談会 (主催：当行、十六銀行、名古屋銀行)
- H26/10 ネットワーク商談会in大阪 (主催：近畿大阪銀行、共催：当行ほか地銀5行)

- H26/11 みえのこだわり食品マッチング交流会 (主催：当行、三重県、三重県信連ほか)
- H27/1 三交クリエイティブライフ向け個別商談会 (主催：当行)
- その他、特定企業向け個別商談会を1回開催。

## 1 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

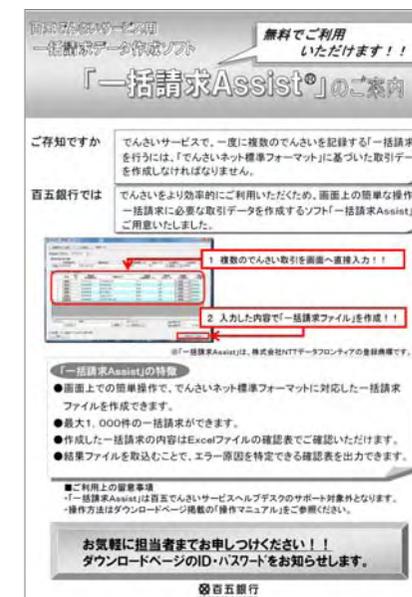
全てのライフステージのお客さまへのサポート

### 新たな決済サービスの提供

- ・でんさいネットの積極的な周知・普及活動を行い、平成27年3月末のでんさいサービス契約先は3,502先となりました。操作画面の改善を実施するとともに、お客さまがでんさいを導入する際に取引先へ通知する「案内文」のひな形や、でんさいを便利にお使いいただくためのソフトの無償提供を行うなど、積極的な利用推進を行いました。その結果、平成26年度におけるでんさい発生記録請求の件数は4,707件（前年度比74%増）と順調に増加しました。

### 融資力向上に向けた取組み

- ・融資案件の取組みにあたっては、事業からのキャッシュフローを重視し、担保・保証に必要以上に依存しない審査に留意しています。
- ・お客さまの事業を的確に評価するため、財務諸表の分析のみでなく、外部講師を活用した研修の実施などにより、将来性や技術力といった定性面の目利きができる人材の育成に努めました。
- ・創業・新事業など当行で事業性の評価が困難な案件には、専門的な知識やノウハウを有する企業や大学、研究開発機関と連携し、適切な目利きが行える体制としています。



## 2 地域の面的再生への積極的な参画

地域全体の活性化、持続的成長に向けた面的再生への取組み

### ストラクチャードファイナンスの拡充

- ・ P F I 事業(※)については、自治体や外部機関との連携強化を図り、積極的に取り組んでいます。平成26年度においては4件のP F I 事業に参画しました。平成27年3月末のP F I 事業向け融資残高は259億円となり、地域金融機関トップクラスの実績を有しています。
- ・ 太陽光発電事業などの再生可能エネルギー向けプロジェクトファイナンスについても積極的に取り組んでおり、平成26年度においては4件のプロジェクトファイナンスに参加しました。平成27年3月末の再生可能エネルギー向けプロジェクトファイナンスの融資残高は48億円となりました。

### 自立型農業事業者への支援

- ・ 平成26年1月に設置した「アグリサポートデスク」の活動の一環として、農林漁業者の他業種との連携による新製品の開発や、6次産業化(※)による新しいビジネスの検討を支援しました。そのほか、農業クラウドサービスの導入支援など、平成26年度は11件のサポートを実施しました。

#### ※「P F I 事業」とは？

「Private Finance Initiative」の略で、国・地方公共団体等が、民間の資金とノウハウを積極的に活用し、公共施設などの設計・建設・維持管理・運営などを行う事業のことです。

一連の業務を民間事業者に委託することにより、事業全体にかかるコストを削減できるなどのメリットがあります。

#### ※「6次産業化」とは？

農林漁業者（1次産業）が、加工業者（2次産業）や販売業者（3次産業）と連携して、地域ビジネスの展開や新たな商品・産業を創出する取組みのことです。

《1次産業×2次産業×3次産業》

## 2 地域の面的再生への積極的な参画

地域全体の活性化、持続的成長に向けた面的再生への取組み

### 地域振興への取組み

⇒ 取組み事例は12ページをご覧ください。

- ・平成25年4月から観光業支援を通じた地域活性化への取組みを開始し、平成26年度はセミナー開催など6件の支援を行いました。地公体、地域の観光事業者向けに外国人旅行客の呼び込みなどに関するセミナーを開催したほか、世界遺産登録10周年を迎えた熊野古道をより多くの方に知っていただくために、熊野古道に関するセミナーや写真展の開催などを行いました。
- ・外国人旅行者を受け入れるためのインフラ整備に向けた取組みを開始しました。具体的には、当行グループ会社と協力し、地域の行政機関や観光業者に、看板や印刷物の翻訳表示サービス「QR Translator」、免税制度対応レジシステム、Wi-Fi環境構築サービスの普及を進めています。

#### 《観光業支援を目的としたセミナー》

	百五観光アカデミー第1回セミナー	百五観光アカデミー第2回セミナー	熊野古道セミナー
開催日	平成26年7月16日	平成27年2月5日	平成26年9月17日・19日
内容	リゾート地として国際的に地名度が高い北海道ニセコの取組みと、旅館・ホテルの経営改善をテーマとしたセミナーを開催しました。	長野県にて旅館を経営している外国人を講師に招き、「外国人が求める日本のおもてなし」などをテーマとしたセミナーを開催しました。	三重県と協働し、熊野古道の語り部を講師に招き、熊野古道の魅力を伝えるセミナーを開催しました。

### コミュニティビジネスの育成、地域活性化への取組み支援

- ・平成26年度は地域資源の発掘による町づくりなどの地域性の高い事業（コミュニティビジネス）に対して、7件の参画を行いました。

3 平成26年度の計画で定めた数値目標に対する達成状況

取組み分野	目標項目	目標	実績
顧客企業に対する コンサルティング機能の発揮	創業・新事業支援先数	15 先	15 先
	医院・介護事業 開業支援件数	60 件	96 件
	環境関連融資 実行額	80億円	52億円
	海外事業展開サポート件数	200 件	447 件
	事業承継 新規相談件数	60 件	71 件
	商談会開催回数	5 回	7 回
地域の面的再生への 積極的な参画	農林水産業および観光関連産業への支援件数	14 件	17 件
	コミュニティビジネスへの支援件数	3 件	7 件

創業・新事業に関する支援

『「創業・新事業融資」を通じた多面的なサポート』

平成25年10月から取扱いを始めました「創業・新事業融資」の第1号案件として、平成26年6月、チーズの生産過程で副産物として残る「ホエイ（乳清）」を練りこんだ生パスタの生産・販売事業を営むお客さまに融資を行いました。また、資金面でのサポートだけでなく、食品商談会への出展サポートや、当行の社員食堂でオリジナルメニューを提供するなど、販路拡大や新商品開発などさまざまな面での支援を実施しています。

当行は今後も「創業者のチャレンジする想い」を積極的に応援します。



ビジネスマッチングによる販路拡大支援

「提携先との連携による新商品開発プロジェクト」

鳥羽商工会議所の“鳥羽市の銘菓を創りたい”という想いを実現させるために、当行が業務提携している生活者参加型の地方特産品開発支援サービス「うまいもんプロデューサー」の活用を紹介しました。そして、平成29年に伊勢市で開催される「全国菓子大博覧会・三重～神都いせ菓子博2017～」に向け、「鳥羽市の木・ヤマトタチバナ」の果実を使った新しいお菓子の開発プロジェクトが開始されました。

「三重県のうまいもん」を全国へ発信する取組みを、当行はこれからも積極的に応援していきます。



ビジネスマッチングによる販路拡大支援

「クラウドファンディングの活用」

インターネットを利用して個人投資家から事業資金を集める「ミュージックセキュリティーズ株式会社のマイクロ投資プラットフォーム」の活用を紹介し、全国に会社や商品のファンを作り、販路拡大につなげています。平成26年8月には、三重県内の酒造会社が最新の設備などを導入し、こだわりの地酒や新銘柄のさらなる品質向上をめざすために「地酒ファンド」を募集しました。募集開始日の当日に募集終了となるなど好評を博し、全国の日本酒ファン獲得の足がかりとなりました。



地域振興への取り組み

「オリーブの栽培普及による地域活性化」

平成26年11月に当行と志摩市が締結した「地域活性化連携協定」にもとづき、平成27年2月、志摩市へオリーブの苗木120本を寄贈し、その贈呈式と記念植樹会を志摩市観光農園にて開催しました。当日は、当行からのボランティア約50名が中心となり、イタリア産（3品種）、スペイン産（3品種）の苗木42本を植樹しました。

今後は、オリーブの試験栽培により地域に合った栽培方法を研究し、オリーブを使った特産品の開発や観光業との連携を図ることで、地域活性化につなげていく方針です。

